高校生　　第 213 号　令和 8 年（2026 年）11 月発行

少年センターだより

守山野洲少年センター
『あすくる守山野洲』
相談は ☎ 583 - 7474 まで
http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c/

「心ひとつに　仲間とともに　自分の花を咲かせよう！」の今　－不易と流行―

野洲市教育委員会教育長　北　脇　泰　久

教育長の職に就いて、2年半が経過しました。この「心ひとつに…」は、私が当時、勤務していた中学校で、私の「学校経営方針」として、地域に示したテーマです。実は、このテーマには続きがあります。生徒会の皆さんが、このテーマにサブ・テーマをつけてくれました。それは、「咲かせよう！一人ひとりの夢の花」でした。

私は、年度途中の１月１日からその中学校の校長として赴任しました。3学期始業式の日、一人の生徒が私のところにやってきて、「どこの誰ともわからん人から卒業証書もらいたくない。」というかなり強烈な言葉を投げかけられました。

その生徒にしてみれば、突然に、「私が校長です。」と初対面するわけですから、生徒の思いも不思議とよく分かりました。前任の校長には、かなりの思い入れがあったのでしょう。でも、人事は万事、私にはどうすることもできませんでした。

そこで、この生徒が卒業するまでの間に、具体的な行動目標として、「地域を知る。」「こどもを知る。」「こどもに寄りそう。」の3つのことを心がけました。

以前、この中学校には2年間勤めていましたので、その時にお世話になった地域の方々を中心にあいさつに回りました。私の状況を察してか、「校長先生、困ったことがあったら言ってな。協力しますよ。」と温かい言葉をたくさんの方々からいただきました。また、卒業学年の2年と9か月間の子どもたちの様子をよく知る先生や地域の多くの方々から情報を集めに回りました。（卒業式の式辞でたいへん役立ちました。）

前任の校長は、3年生の生徒と校長室で「班別給食会」をされているほど、一人ひとりの生徒を大事にされていました。また、私からも卒業式への出席をお願いして、当日、教育長（前任の校長）から「卒業生に贈る言葉」を万感の思いで話していただきました。多くの卒業生、保護者の皆さんも涙を流しながら聞かれていた様子を今もよく覚えています。強烈な一言の生徒と保護者からも、「校長先生、ありがとう。」と言ってもらえたことは、何より嬉しかったです。と同時に、生徒の思いに「寄り添う。」ことができた特別な日となりました。

今、教育長として、このテーマとサブテーマを「野洲市の教育方針」のチャレンジ・テーマにしています。これは、“こどもたち”のために、教職員や保護者、地域の方々、コミュニティスクールにご協力・ご支援を得ながら、学校・園という集団生活の場において、“仲間とともに”日々切磋琢磨する。結果として、仲間とともに自分の花を咲かせる＝「自己実現」することを目指しています。

ぜひ、「一人ひとりの夢の花」を咲かせられるよう、学校・園と家庭、地域が一体となって「子どもの育ち（成長）」をご支援いただきますようお願いします。

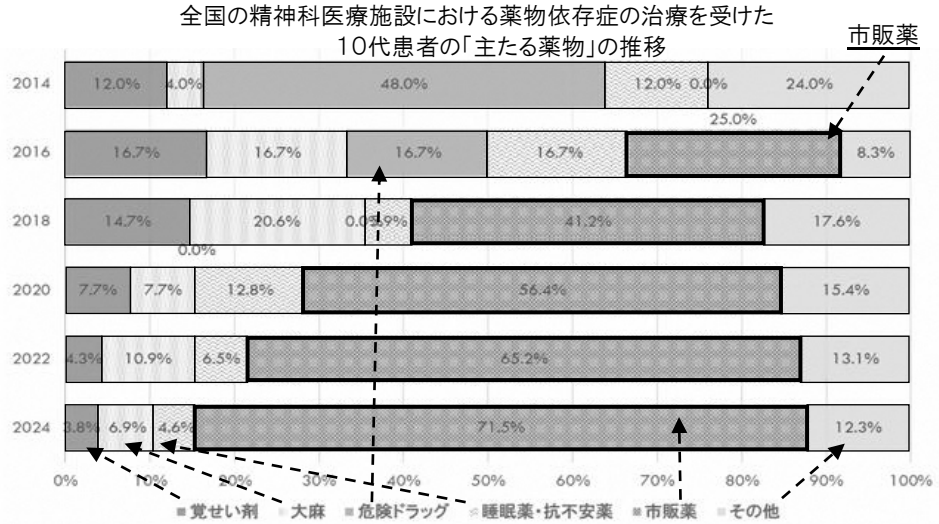
あの時の生徒会からもらったサブ・テーマと生徒からの強烈な一言は、今も私の大切な宝物になっています。



オーバー O ドーズ D と「あなた」

医薬品を、用法用量を守らず、大量に服用することを、「OD（オーバードーズ）」と言います。近年、若い世代を中心に、市販薬（風邪薬、咳止め薬、アレルギー剤など）を大量に購入・服用するケースが増加しています。国立精神・神経医療研究センターが、5万人以上の高校生に行った2024年度の調査では、「治療ではなく乱用（『気分を変える』『ハイになる』ために決められた量や回数を超えて使用すること）目的で市販薬を使用した経験がある」と答えた高校生は、全体の 1.4%（男性 0.9%、女性 1.7%）でした。割合に換算すると約70 人に 1 人です。右の図からもわかるように若い世代においては、市販薬が薬物依存の中心となっています。

全国の精神科医療施設における薬物依存症の治療を受けた10代患者の「主たる薬物」の推移



出典：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査（2024年）（国立精神・神経医療研究センター）
（令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業））

（右図補足：①危険ドラッグは、2018年以降0%）
②2018 年 睡眠薬・抗不安薬5. 9%）

「OD」が気になるあなたへ

学校生活がうまくいかない、誰も自分のことを理解してくれない、家庭の雰囲気がよくないなど、悩んでいるときに、「OD をしたら楽しくなった」「つらい気持ちがやわらいだ」「嫌なことが忘れられた」といった SNS 上のコメントを見て、OD に興味をもつことがあるかもしれません。でもちょっと待ってください！ OD には右のような危険性があります。OD を軽い気持ちで始めることはやめましょう。

OD の危険性

きけん

①急性症状

医薬品を大量服用すると、吐き気、おう吐、意識障害、さらには呼吸や心臓の停止など、生命にかかわるような中毒症状を起こすことがあります。また、肝臓や腎臓に深刻なダメージが起こることも知られています。

②依存性・耐性

OD を続けていると、薬物がきれた時に苦痛や不安感が生じて、また薬物が欲しくなったり、繰り返し使うことで、効果が出にくくなったりするため、使用量や回数が増えていきます。

「OD」をやめたいあなたへ

自分では解決できない問題や、抱えきれない悩みから一時的にでも逃れ、救われるために OD に頼っているのかもしれません。自分から相談することは苦手かもしれませんが、信頼できる人や安心できる人に、勇気を出して話してみてください。もし、身近に相談できる相手がいなければ社会の中には、相談窓口もありますので、頼ってみてください。自分のしんどさを話すだけでも、楽になることがあると思います。



「OD」を見つけたあなたへ

身近な人が OD をしていることを知ったら、声をかけてほしいと思います。でも、「なぜ OD をしたのか」と責めたり、「やってはいけないよ」と否定したり、「自分の命を大事にして」と命の尊さを説いたりしてはいけません。「正直に話してくれてありがとう」という気持ちを伝えた上で、「相手の行動」でなく、「相手の背景」に目を向けて、寄り添う姿勢が大切です。また、聞いた人も一人で抱え込まず、養護教諭・カウンセラー、保健機関など専門家に相談しましょう。

『あすくる守山野洲』では

悩みや課題を抱え、自分の居場所がなく悩み苦しんでいる子どもたちが自分自身を見つめ直し、健やかに成長していくための支援を行っています。

支援の内容

少年や保護者と面談して、次の支援の中から効果的なメニューを決定し、支援を行います。

生活改善支援

昼夜逆転など不規則な生活をしている少年に対して、生活リズムを整える支援を行います。

自分探し支援

カウンセリングや様々な体験活動を通じて自分自身を見つめ、そこから具体的な目標を見出し、将来の夢に向かって行くための支援を行います。

就学支援

学力に応じ、復学、進学等に向けての基礎・応用　学力の習得や進路指導等の支援を行います。

就労支援

就労のための基礎的社会生活能力の習得、職場実習や職業体験、技能・資格取得等の支援を行います。ハローワークや支援企業に相談して就職先を見つける手助けをします。

家庭支援

少年および保護者の方へ相談活動やふれあい活動を通じて、より良い親子関係や家庭環境を整えるための支援を行います。

『あすくる』で支援をするにあたって・・・

○中学生から20歳になるまでの少年やその保護者の方に対して、様々な相談・支援を行っています。

○基本的には、非行や非行の心配がある少年とその保護者を対象としています。少年が少しでも自立できるよう支援しますので、まずは「相談」をしてください。

○少年が自力で通所できることが望ましいですが、難しい場合は保護者の方や学校の協力をお願いします。



野洲市在住の方へ

相談場所として R6年10月にやすサテライトが野洲市人権センターに開設されました。野洲市にお住まいの方は利用できますので、583−7474まで連絡ください。

相談は

○土曜・日曜・祝日および年末年始を除く毎日

○時間は午前９時から午後５時

ひとりで悩む時間を、誰かと会話する時間に

TEL　077-583-7474

～　守山野洲少年補導(委)員会の活動・紹介　～

物部地区少年補導(委)員会の紹介

私たちが所属する守山野洲少年補導(委)員会は、守山野洲少年センター運営委員会長から委嘱される少年補導委員と守山警察署長から委嘱される少年補導員を兼務する少年補導(委)員で構成されています。

守山市５０名・野洲市４０名の９０名で１６地区に分かれて相互の連携を図り、青少年の非行防止と健全育成を目指して活動をしています。

活動として、街頭補導巡回活動・啓発活動・薬物乱用防止教室（６年生対象）の開催・物部地区少年補導(委)員は５名で活動を行っています。

少年補導(委)員　S

定例街頭補導巡回・薬物乱用防止教室・その他啓発等、取り組む中、まずは声掛けコミュニケーションの第一と考え、あいさつを交わすことにより、子どもたちが健全に育ってくれる環境づくりの一助になっていれば幸いです。

少年補導(委)員　K

守山の未来を担う子どもたちが、笑顔で健やかに育つよう、地域から見守り続けています。安全で安心な街を共に創っていきたいです。

また、辛い時こそ『よく見て、よく考え、行動する』ことに気を留めて欲しいと思います。

少年補導(委)員　I

定例街頭補導巡回・薬物乱用防止教室・その他啓発等、組織の様々な取り組みの中の一部ではありますが、子どもたちが健全に育ってくれる環境づくりの一助になっていれば幸いです。



少年補導(委)員　Y

毎月一回の夜間巡回パトロールで、中高校生数人が公園に集まっている時があります。早く帰宅するように促しても素直に聞いてくれない場合の対応が難しく、地道な活動が子どもの耳に届き非行に走る行動を防げることを願います。

少年補導(委)員　N

少年補導(委)員も２年目になり、地域の子どもたちの安全を守るために活動をおこなっています。

また、街頭補導巡回による非行防止に務めていきたいと思います

10 月 1 日～11 月 30 日麻薬・覚せい剤防止運動です。



三上地区少年補導(委)員会の紹介

三上地区は、野洲川の北東に位置し、三上山の裾に広がる田園地帯の中の集落、団地、工業地が点在するどちらかと言えば、のどかな地域になります。

地区の少年補導(委)員は、５名。現在、１名欠員中ですが、少年非行の早期発見や被害防止を第一の目標として活動中です。

少年補導(委)員　澤　正幸

非行の防止だけでなく、すべての子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいとの思いで活動をしています。

〈担当〉三上(山出・東林寺)、妙光寺

少年補導(委)員　三村　益夫

少年補導（委）員になって 10 年目を迎えました。活動を通して、子どもたちが元気よく過ごせることを願っています。　〈担当〉近江富士団地全地区

少年補導(委)員　飯田　吉宣

子どもたちの学校生活が安心して、楽しく送れることを願って、地域住民の方々の協力のもと、活動しています。

〈担当〉三上(前田・大中小路・小中小路)

少年補導(委)員　小嶋　貞男

子どもたちの安全を願いながら、地域の役員の皆様とともに日々の活動をさせて頂いております。

〈担当〉南櫻・北桜

毎月第２土曜日には、街頭補導巡回活動(夜間パトロール)を行い、地域の協力も得て、地区内の公園や駐車場、コンビニなどを車で巡回しています。

また、三上学区青少年育成会議の一員として、朝の通学路の立ち番を、毎月第２・第４水曜日(春や夏などの休暇中を除く)に、地域からの参加も得て地区内の交差点５か所で登校時の小中学生を見守っています。

また、見かけたら声をかけてくださいね。



11 月は滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間です。

守山野洲少年補導(委)員会　守山市吉身三丁目 11 番 43 号　電話 077-570-7557